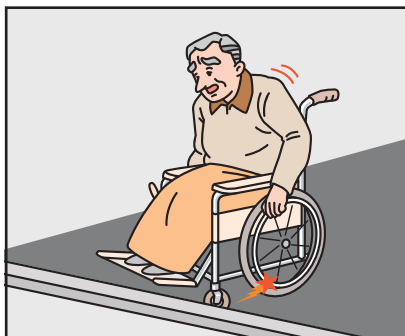


ライン導水ブロックシリーズ 歩道整備での活用

歩道(自転車道)整備が求められています。

しかし、新たな空間の確保は容易ではないので、今ある限られた道路空間をいかに活用するかが歩道整備のカギになります。

少子高齢化の
進展によるバリアフリー化



自動車中心から
歩行者への道路需要の転換



自転車歩行者道の整備推進



従来の整備手法では幅員が十分確保できない場合でも、
ライン導水ブロックシリーズの導入で、道路空間を無駄なく活用できます。

▼ L形側溝を使用した場合



→ L形ではガッター幅が必要です。

▼ ライン導水ブロック(標準部用)を使用した場合



→ ライン導水ブロックF型を使えば
歩道を広げることができます。

実際の歩道整備の例

事例①・・・施工中の様子



事例②・・・施工前後の比較

